

リニアレン124

安全データシート

作成日: 1997/03/07
改訂日: 2024/12/03
整理番号: LINEALENE_124_JP04 (JP)_20241203

1. 化学品及び会社情報

製品名 : リニアレン124
化学品の名称 : (1-ドデセンと、1-テトラデセンの混合物)

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 合成原料、重合原料
使用上の制限 : 工業用途のみとし、所定用途以外には使用しないこと。

会社情報

製造業者 出光興産株式会社
〒100-8321 東京都千代田区大手町一丁目2番1号
電話 0120-132-015
緊急連絡電話番号 : 0120-015-230 (NCEC)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的危険性 引火性液体 区分4
健康有害性 誤えん有害性 区分1

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP) : 危険
危険有害性 (GHS JP) : 可燃性液体 (H227)
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ (H304)

注意書き (GHS JP)

安全対策 : 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面を着用すること。(P280)
応急措置 : 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
無理に吐かせないこと。(P331)
火災の場合:消火するために適切な消火器具を使用すること。(P370+P378)
保管 : 換気の良い場所で保管すること。(P403)
施錠して保管すること。(P405)
廃棄 : 内容物、容器を国、都道府県、市町村の規則に従った場所に廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名 : (1-ドデセン と 1-テトラデセンの混合物)
IUPAC 名 : (Dec-1-ene と Tetradec-1-ene の混合物)

| 化学物質名 | 濃度 (%) *1 | 化学式 *2 | 官報公示整理番号 | CAS 番号 |
|-------|-----------|--------|----------|--------|
|-------|-----------|--------|----------|--------|

リニアレン124

整理番号: LINEALENE_124_JP04(JP)_20241203

| | | | 化審法番号 | 安衛法番号 | |
|--------------------------|---------|---------------------------------|--------|-------|-----------|
| 1-ドデセン (1-Dodecene) | 53-59*2 | C ₁₂ H ₂₄ | (2)-27 | 既存 | 112-41-4 |
| 1-テトラデセン (1-Tetradecene) | 41-47*3 | C ₁₄ H ₂₈ | (2)-27 | 既存 | 1120-36-1 |

*1: 成分比は、代表値、 *2: C₁₂H₂₄として、*3: C₁₄H₂₈として

4. 応急措置

応急措置

- 応急措置 一般 : 直ちに医師の診察を受ける。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
- 眼に入った場合 : 予防措置として水で眼を洗う。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせてはいけない。
直ちに医師の診察を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 症状・損傷 飲み込んだ場合 : 肺水腫のリスク。

医師に対する特別な注意事項

- 医師に対する特別な注意事項 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。
- 火災時の特有の危険有害性 : 可燃性液体。
- 爆発の危険 : 引火性・爆発性蒸気-空気混合物を形成することがある。
- 火災時の反応性 : 熱分解により次のものを生成する: 一酸化炭素、二酸化炭素
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
- 特有の消火方法 : 火災の場合: 区域から退避させ、爆発の危険性があるため、離れた距離から消火すること。
水噴霧や霧水で熱にさらされた容器を冷却する。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置 : 十分に換気すること。
適切な保護具を着用して作業する。

非緊急対応者

- 応急処置 : 漏出エリアを換気する。
裸火、火花禁止、禁煙。

緊急対応者

- 保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第8項の「ばく露制御/個人保護」を参照。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

リニアレン124

整理番号: LINEALENE_124_JP04 (JP)_20241203

- 浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
- その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : データなし
- 安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
個人用保護具を着用する。
- 接触回避 : データなし
- 衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 火の気のない場所で保管する。
換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。
- 安全な容器包装材料 : データなし
- 混触禁止製品 : 強力な酸化剤。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。
- 保護具
- 呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。
- 手の保護具 : 保護用手袋
- 眼及び/又は顔面の保護具 : 安全メガネ
- 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。
- 環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
- 外観 : 無色透明液体
- 分子量 : —— (参考 1-ドデセン: 168.3 g/mol, 1-テトラデセン: 196.4 g/mol)
- 色 : 無色
- 臭い : 炭化水素臭
- pH : データなし
- 融点 : —— (参考 1-ドデセン: -35.2°C, 1-テトラデセン: -13°C)
- 凝固点 : データなし
- 沸点又は初留点及び沸点範囲 : —— (参考 1-ドデセン 215.8°C, 1-テトラデセン 255°C)
- 引火点 : 91 °C (Cleveland open-cup)
- 自然発火点 : 265 °C
- 分解温度 : データなし
- 可燃性 : 可燃性液体

リニアレン124

整理番号:LINEALENE_124_JP04(JP)_20241203

| | |
|--------------------------|--|
| 蒸気圧 | : データなし(参考 1-ドデセン: 3 Pa(20°C)、1-テトラデセン: 1 Pa(20°C)) |
| 相対蒸気密度 (20 °C) | : 6.2 |
| 相対密度 | : 0.764 (20°C) |
| 溶解度 | : 水に溶けない(参考 1-ドデセン: 120 ug/l (@25°C, ECHA data) , 1-テトラデセン: 13.5 ug/l (@25°C, ECHA data)) |
| n-オクタノール/水分配係数 (Log Kow) | : データなし(参考. 1-ドデセン: Log Kow 8 、1-テトラデセン 7.08) |
| 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 | : データなし (参考 1-ドデセン: 0.6 - 5.4 vol %(Chemicalbook)、 1-テトラデセン: 0.3 - 4.3 vol %(ICSC, ILO)) |
| 動粘性率 | : データなし (参考 1-ドデセン 1.72 mm ² /s(@20°C, HSDB(2002) , 1-テトラデセン 2.75mm ² /s(@20°C, LOLI:ECHA data) |
| 粒子特性 | : データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|---------------------------------------|
| 反応性 | : 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しない。 |
| 化学的安定性 | : 通常の下では安定。 |
| 危険有害反応可能性 | : 強酸化剤、および酸と共に強烈に反応する。 |
| 避けるべき条件 | : 高温面との接触を避ける。熱。炎や火花の禁止発火源をすべて断つ。 |
| 混触危険物質 | : 強酸。酸化剤。 |
| 危険有害な分解生成物 | : 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。 |

11. 有害性情報

本製品についてのデータがないため、構成成分のデータから以下のとおり、推定した。

| | |
|--------------|---|
| 急性毒性 (経口) | : 区分に該当しない。1-ドデセン、1-テトラデセンのデータから区分に該当しないとした。 |
| 急性毒性 (経皮) | : 区分に該当しない。1-ドデセン、1-テトラデセンのデータから区分に該当しないとした。 |
| 急性毒性 (吸入) | : 区分に該当しない(分類対象外) (気体)、分類できない (蒸気、粉じん (塵) 、ミスト) (1-ドデセン、1-テトラデセンのデータがないため) |
| 急性毒性 (吸入:気体) | : GHS の定義における液体である。 |
| 急性毒性 (吸入:蒸気) | : データなし。 |
| 急性毒性 (吸入:粉末) | : データなし。 |

| 1-ドデセン(1-Dodecene) (112-41-4) | |
|-------------------------------|--|
| 急性毒性 (経口) | ラット LD50 値 : > 10000 mg/kg (SIDS (2000)) に基づき、区分に該当しないとした。 |
| 急性毒性 (経皮) | ラット LD50 値 : > 10000 mg/kg (IUCLID (2000)) に基づき、区分に該当しないとした。 |
| 急性毒性 (吸入:気体) | GHS の定義における液体である。 |
| 急性毒性 (吸入:蒸気) | データなし。 |

| 1-テトラデセン(1-Tetradecene) (1120-36-1) | |
|-------------------------------------|---------------|
| LD50 経口 ラット | > 10000 mg/kg |
| LD50 経皮 ウサギ | > 10000 mg/kg |

皮膚腐食性/刺激性 : 区分に該当しない (1-ドデセン、1-テトラデセンに対し、"Not irritating"
(ECHA data)とされるため)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分に該当しない
(1-ドデセン 及び 1-テトラデセンのデータから判断)

| 1-ドデセン(1-Dodecene) (112-41-4) | |
|-------------------------------|--|
| 眼に対する重篤な損傷又は刺激性 | ウサギを用いた試験で刺激性なし (not an eye irritant) との結果 (SIDS (2000)) に基づき区分に該当しないとした。 |

リニアレン124

整理番号:LINEALENE_124_JP04(JP)_20241203

| 1-テトラデセン(1-Tetradecene) (1120-36-1) | |
|-------------------------------------|--|
| 眼に対する重篤な損傷又は刺激性 | 刺激性なし (not an eye irritant) との結果 (ECHA) に基づき区分に該当しないとした。 |
| 呼吸器感受性 | : 感受性なし (1-ドデセン 及び 1-テトラデセンのデータから判断) |
| 皮膚感受性 | : 感受性なし (1-ドデセン 及び 1-テトラデセンのデータから判断) |
| 1-ドデセン(1-Dodecene) (112-41-4) | |
| 呼吸器感受性 | 呼吸器感受性なし (ECHA data) |
| 皮膚感受性 | 皮膚感受性なし (ECHA data) |
| 1-テトラデセン(1-Tetradecene) (1120-36-1) | |
| 呼吸器感受性 | 呼吸器感受性なし (ECHA data) |
| 皮膚感受性 | 皮膚感受性なし (ECHA data) |

生殖細胞変異原性 : 分類できない(データなし)

| 1-ドデセン(1-Dodecene) (112-41-4) | |
|-------------------------------------|--|
| 生殖細胞変異原性 | in vivo 試験のデータがなく分類できない。なお、in vitro 試験として、エームス試験で陰性 (SIDS (2000))、ラット肝細胞を用いた染色体異常試験で陰性 (SIDS (2000)) の報告がある。 |
| 1-テトラデセン(1-Tetradecene) (1120-36-1) | |
| 生殖細胞変異原性 | 分類できない(データ不足) |

発がん性 : 分類できない (データなし)
生殖毒性 : 分類できない (1-ドデセン:データなし、1-テトラデセン:データ不足)
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない (1-ドデセン:データなし、1-テトラデセン:データ不足)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない (1-ドデセン:データなし、1-テトラデセン:データ不足)

誤えん有害性 : 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
区分1と推定される。本製品は、炭化水素であり、その動粘性率が 20.5 mm²/s(@40℃)
未満と考えられるため (参考 1-ドデセン: 1.72 mm²/s (HSDB (2002)); 1-テトラデセン: 2.75mm²/s @20℃)

12. 環境影響情報

本製品についてのデータがないため、構成成分のデータがある場合は、以下のとおり、推定した。

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性) : 分類できない (データ不十分)
水生環境有害性 長期 (慢性) : 分類できない (データ不十分)

残留性・分解性

生分解性 : 本製品のデータはないが、成分の 1-ドデセン および 1-テトラデセン とも 100% 生分解性であることから、100%生分解性とした。

生体蓄積性

生体蓄積性 : データなし
n-オクタノール/水分配係数 : データなし(参考 1-ドデセン: Log Kow 8、1-テトラデセン: (Log Kow) Log Kow 7.08)

土壤中の移動性 データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない (データなし)
その他の有害な影響 : 追加情報なし

リニアレン124

整理番号: LINEALENE_124_JP04 (JP)_20241203

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を破棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

| 道路輸送 (UN RTDG) | 海上輸送 (IMDG) | 航空輸送 (IATA) |
|-------------------|----------------|----------------|
| 国連番号 | | |
| 規制されていない | 規制されていない | 規制されていない |
| 国連正式品名 | | |
| 規制されていない | 規制されていない | 規制されていない |
| 輸送危険物分類 | | |
| 規制されていない | 規制されていない | 規制されていない |
| 容器等級 | | |
| 規制されていない | 規制されていない | 規制されていない |
| 環境有害性 | | |
| 規制されていない | 規制されていない | 規制されていない |

海洋汚染物質 : 非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

- 労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき有害物 (法第57条、施行令第18条)
(1-ドデセン 53%) (令和7年4月1日以降)
名称等を通知すべき有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2)
(1-ドデセン 53%) (令和7年4月1日以降)
- 毒物及び劇物取締法 : 非該当
- 消防法 : 第4類引火性液体、第三石油類非水溶性液体 (法第2条第7項危険物別表第1)
- 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) : 非該当

その他の規制情報 データなし

16. その他の情報

参考文献 : 非公開弊社保有試験結果、ECHA (欧州化学機関)、文献データ等

免責事項

このSDSはJIS Z 7253(2019)に準拠する。この安全データシートに記載されている情報は、その発行日時点において、我々が知る限りにおいて、および信じるところにより正確であることを証明する。ここに記載する情報は、安全な取り扱い、使用、処理、保管、運搬、廃棄、および放出を安全に実施することを目的としてのみ提供されており、保証または品質仕様を表しているものではない。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、何らかのプロセスで指定外に他の物質と共に使用した場合、その妥当性は排除される。